

2015/3/28.29 聞き書き甲子園フォーラム 「海の森」植樹イベントが 開催されました。

於：東京大学弥生講堂一条ホール



ファミリーマートは2006年から店頭募金「夢の掛け橋募金」の一部を（公益社団法人 国土緑化推進機構）に寄付し、高校生が聞き書き取材を通じて先人たちと世代を超えた交流の時間を持ち、名手・名人の知恵を後世に伝える「聞き書き甲子園」を中心とした、青少年育成に使わせていただいています。

2015年3月28日は、「聞くことから始まる。私たちの1歩」をテーマとして、「聞き書き甲子園フォーラム」が開催されました。名人に話を聞き、高校生たちが何を感じたか。社会への関心を育むフォーラムの場で、参加した高校生と名人の様々な想いが発信されました。また、その翌日は「海の森」での植樹活動を行いました。



2015年3月28日（土） 午前の部 映画上映「森聞き」

午後の部 聞き書き甲子園フォーラム テーマ：「聞くことから始まる。私たちの1歩」

2015年3月29日（日） 「海の森」 植樹体験

聞き書き甲子園とは？

「聞き書き甲子園」は、農林水産省、文部科学省、環境省、認定NPO法人共存の森ネットワーク等からなる実行委員会が主催して実施しており、日本全国の高校生を対象に広く募集し、高校生たちが森や海・川の名手・名人を訪ね、知恵や技術、人生そのものを「聞き書き」し、記録する活動です。参加した高校生が、森・川・海の名手・名人と世代を超えた交流を通して、森林や海からの豊かな恵みやそこに暮らす人々の営み、地域の伝統・文化等について学び、その成果を発表する場所の一つがフォーラムです。ファミリーマートは、2005年度からこの活動に賛同し、2006年度からは、店頭募金「夢の掛け橋募金」の一部を寄付している他、参加高校生募集活動の支援として、ファミリーマート店内放送やレジ液晶画面・募集チラシ設置等で協力しています。また聞き書き研修への社員派遣、マッチングギフト募金による支援を継続して行っています。

※マッチングギフトとは、ファミリーマートでは皆様からの募金に、マッチングギフトとして一定額を上乗せしたうえで、各団体への活動支援資金として寄付しています。

<聞き書き甲子園ホームページ： <http://www.foxfire-japan.com/>>



名人にインタビューする高校生

「聞き書き甲子園」フォーラム

～テーマ：「聞くことから始まる。私たちの1歩」～

フォーラムでは、「森の名手・名人」「海・川の名手」と高校生の体験談があり、高校生が名人の自然と共生する姿から持続可能な生き方を学んだこと、そしてその学びから自然との共生、未来の希望について語ってくれました。また参加した高校生（100名）へ「聞き書き修了証書」授与、優秀作品賞・優秀写真賞の発表と授与が行われました。

続いて、「聞く」ことから始まる地域づくりについて、パネラー3名をゲストとしてむかえパネルディスカッションが開催されました。



パネルディスカッションの様子



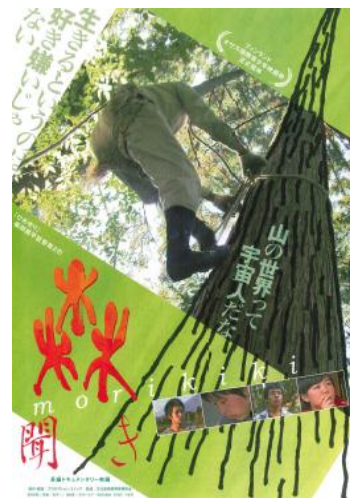
聞き書き甲子園優秀作品賞授賞式

「聞き書き」を経験した高校生たちは、世代を超えた名人との出会いで、自分の世界が少し広がったのではないのでしょうか。

今年、フォーラムの午前の部では、平成23年児童福祉文化賞を受賞した映画「森聞き」が上映されました。

この映画は、4人の高校生がそれぞれ山村に暮らす「森の名人」と呼ばれる人たちの人生と技を聞き書きした姿を追ったドキュメンタリー映画です。杉の大木に登り、良質の種を採集するおじいさん、そして小学生のころから、焼畑農法を続けてきたおばあさんが、その地域の方言で高校生の質問に答えて、人生の先輩としてやさしく諭す場面もありました。

生き抜いていく底力を感じる映画ですが、これから、進学、就職と考えていかなければならない高校生にとって、今の自分を見つめなおす貴重な映画となったようです。



ファミリーマートの支援目的

事業活動を通じて常に地球環境保全に配慮し、心豊かなより良い社会の実現を目指し、次世代社会の担い手を育成する事業を支援する

聞き書き甲子園

次世代の育成

名人+高校生

自然とともに生きる
知恵や技の伝承

名人の仕事と生き方を記録

聞き書きする地域の暮らし・文化がみえてくる

共感と信頼関係が生まれる

森と人、人と人、世代と世代をつなぐ

聞き書き甲子園×「森の教室どんぐりくんと森の仲間たち」in海の森

「聞き書き甲子園」が「海の森」で植樹を始めたのは8年前にさかのぼります。

都市活動の結果生じたゴミと建設発生土の島を、植樹活動により海に浮かぶ美しい森に生まれ変わらせる循環型社会のシンボルである「海の森」の造成が始まった際、東京都が都民、企業及び団体が協働でつくり育ててゆくという方針をうちだしたのをきっかけに、「聞き書き甲子園」でも植樹を行うこととし、毎年高校生が参加して行っています。

今年、「聞き書き甲子園」の参加高校生と、「森の教室どんぐりくんと森の仲間たちプロジェクト*」に、2013年12月10日に参加した、「みわ幼稚園」のこどもたちが、「海の森」にて、2年間育てたどんぐりを植樹しました。

高校生は、ニレ、桃、大島桜も共に植樹、世代を超えて自然と共生する意識や、森の大切さを学びました。

*「森の教室 どんぐりくんと森の仲間たち」とは、(公社)国土緑化推進機構がファミリーマートの店頭募金「夢の掛け橋募金」の寄付により実施しているプログラムです。全国の幼稚園・保育園を巡回して、園児たちに森と生活との関わりを伝え、一緒に森を守り、育てることを学ぶ教室です。



聞き書き甲子園参加者と森の教室に参加したみわ幼稚園児童たちが全員集合

「海の森」は、東京湾に浮かぶゴミと建設発生土で埋め立てられた中央防波堤内側埋立地で、1973年から1987年の間にた1,230万トンものゴミによって造成された場所です。

面積は、約88ヘクタール（日比谷公園の5.5倍）で、植樹は2008年度から始まり、30年かけて完了させる計画です。

また、「海の森」の植樹効果としては、48万本の植樹を行ない、二酸化炭素を吸収することで地球温暖化の改善に役立つと考えられています。

これから森ができることで、都心への風の道ができ、ヒートアイランド現象をやわらげることも期待されています。



園児が成長したどんぐりを植樹



(C) 森の教室運営事務局



この活動にはみなさまからお預かりした募金が使われています ～ファミリーマート夢の掛け橋募金～



店頭で行っている「夢の掛け橋募金」は、世界のこどもたちと地球の未来のために活動を行うNPO/NGOの活動支援と支援事業に対して寄付し使われています。

お預かりした募金の一部を国土緑化推進機構を通じて、聞き書き甲子園実行委員会に寄付をしています。

ファミリーマートではお客さまからお預かりした「夢の掛け橋募金」に加え、企業募金として一定額のマッチングギフトを加えて聞き書き甲子園実行委員会へ寄付をしています



<関連ページ>

ファミリーマート「夢の掛け橋募金」ページ

<http://www.family.co.jp/company/eco/action/dbf.html>

店頭の募金はどのように使われているの？

<http://www.family.co.jp/company/eco/bokin/index.html>

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。

「夢の掛け橋募金」から認定NPO法人 共存の森ネットワークへの寄付金額

年度・内容	寄付金額（単位：円）
2006	18,514,059
2007	22,463,262
2008	23,742,656
2009	21,547,374
2010	20,901,397
2011	16,874,233
2012	29,583,573
2013	22,212,125
2014	26,220,391
2006年度～ 2014年度合計	202,059,070
(株)ファミリーマート マッチングギフト 合計(2006-2014)	21,107,000
2006年度～ 2014年度総額	223,166,070

店頭募金箱から募金が可能です。
皆さまからの温かいご支援を
よろしくお願いたします。